

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	土木建築部 公園・生活排水課
評価対象期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日

## 1 指定概要

施設概要	名称	大分スポーツ公園及び高尾山自然公園	施設種別	レクリエーション・スポーツ
	所在地	(大分スポーツ公園)大分市横尾1351番地ほか (高尾山自然公園) 大分市横尾4225番地ほか		
	設置目的	県民のスポーツ振興及び健康増進を図る。		
指定管理者	名称	株式会社 大宣		
	代表者名	代表取締役社長 朝倉 弘美		
	所在地	大分市東春日町1-8		
指定管理業務の内容	① 公園施設の維持管理及び修繕に関する業務 ② 都市公園の利用の受付及び案内に関する業務 ③ 都市公園施設の利用の許可に関する業務 ④ 都市公園の利用の促進に関する業務 ⑤ 地域、NPO等との連携に関する業務 ⑥ ネーミングライツパートナーシップ事業に関する業務			
料金制度	利用料金 ・ 使用料 ・ 該当なし			
指定期間	平成26年4月1日～31年3月31日(5年間)			

## 2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価レベル	得点
1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組み	40		32
(1)施設の設置目的の達成			
①計画に則って施設の管理運営(指定管理業務)が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。			
②施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	20	4	16
③複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。			
④施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。			
【評価の理由】			
○平成26年度の利用者数は1,251,769人で平成25年度の1,308,616人に対し95.7%であるが、平成26年度の目標指標1,220,000人に対しては102.6%となっている。 利用者数減少(前年度比△56,847人)の原因は昨年度、全国高校総合体育大会(176,188人)があったためだが、平成26年度はサッカー日本代表戦(36,277人)、サーカス(56,125人)の大規模イベントの誘致成功により目標指標は上回ることができている。			
○指定管理者が行う自主事業として、テニススクール(平成19年度から)、硬式野球初心者教室(平成21年度から)、そば道場(平成22年度から)及び陶芸塾(平成26年度から)を開催し、利用者の方に喜ばれている。 テニス教室は初心者からジュニア育成強化まで5つのコースがあり、210人の生徒が受講している。 硬式野球初心者教室は、軟式野球から硬式野球への移行をスムーズに行うために中学3年生を対象に実施しており、教室の卒業生が高校硬式野球部で活躍し、中には全国大会に出場する選手が出るなど効果が現れている。 そば道場は参加者に好評で6か月の予定期間を過ぎても継続を希望する人が多く、陶芸塾は2年目に入り、初心者とは思えない作品に仕上げる受講生も出てきている。			

- サービス改善提案事業として誘導サイン(案内看板)の充実及びパソコンからの利用予約に取組んでいる。誘導サインの充実は、利用者アンケートでも指摘があり、大分銀行ドーム内及び公園全体で、利用者が迷いやすいところに設置している。パソコンからの利用予約については、個人利用が多いテニスコートについて予約システムを導入して利用者の利便を図っている。
- 大分スポーツ公園の情報発信を図るためホームページを開設しており、平成26年4月のリニューアルではレイアウト等の変更と併せ内容の充実も図り、その後も随時こまやかな更新に努めている。これに伴いアクセス数も平成25年度の140,003回から平成26年度は217,648回となり前年対比155.5%となっている。また、大分合同新聞夕刊「ぶんぶん」のお知らせコーナーに、年間を通して毎週月曜日に行事のお知らせなどを行っている。

(2) 利用者の満足度

①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	20	4	16
②利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			

【評価の理由】

- 各年度とも利用者アンケートを行っており、「目安箱」と名付けた随時の意見受付をはじめ、ドーム等の利用者アンケート(576人)及びテニスコート利用者アンケート(213人)を実施し、より多くの利用者からきめ細かに意見を聞く体制をとっている。
- 利用者アンケートの結果、利用の感想は「大変良い」及び「良い」の評価が81%となっており、職員の対応を中心に、施設利用者の満足度は高い。また、調査結果を分析して、運営上の課題を把握することにも努めている。
- アンケートの結果については、その都度対応策も含めて詳細にホームページにおいて公表しており、真摯に対応しているといえる。
- 利用者からの意見・苦情に関しても、指定管理者のみでできることにはすぐに対応し、県との協議や報告が必要なものについてもすぐに協議、報告が行われており、迅速な対応は評価できる。

2 効率性の向上等に関する取組み

30 / 20

(1) 経費の低減等

①施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。	20	3	12
②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。			
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。			

【評価の理由】

- ドームに設置されているエレベーター7基のうち2基は常時停止しており、館内の照明も不必要なものはこまめにスイッチを切るなど、省電力に努めている。
- 管理運営業務の一部(清掃、設備管理、警備、芝生管理等)を専門のパートナー企業に再委託して連携を図りながら経費の節減に努めている。
- 職員及び防災センターの設備管理担当者、警備担当者が公園内の巡回の際の異常の早期発見、そして早期対応することで経費の低減に努めている。
- 公園内の草刈り・草取り作業の一部をボランティアに行ってもらうほか、指定管理者のスタッフが毎月1回、自ら草刈りを実施することにより、管理経費の削減に努めている。

(2)収入の増加 ①収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。	10	4	8
<b>【評価の理由】</b> ○平成26年度の施設使用料等収入は72,410千円で平成25年度の65,513千円に比べて6,897千円増加している(前年対比110.5%)。収入増加の主な要因はサッカー日本代表戦(6,402千円)、サーカス(1,911千円)の誘致によるもの。また、全国大会、九州大会、各種スポーツ大会、展示会、合宿等の誘致の積み重ねにより収入確保に努めている。			
<b>3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組み</b>	30		24
(1)施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況 ①施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。 ②職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか。 ③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。	15	4	12
<b>【評価の理由】</b> ○指定管理者として施設の管理運営に当たる人員は、(株)大宣の社員18人であるが、そのほか(株)メンテナンス、雪印種苗(株)、(有)フーディーズなど、パートナー企業の人員もドームに常駐しており、30人を超える人員がスポーツ公園の日常の管理運営に当たっている。 ○職員の資質向上のため、各種資格の取得を推奨している。職員の希望も考慮のうえ、体育施設管理士、体育施設運営士、防火管理講習、防災管理講習などの資格を取得している。 ○NPO法人、地元自治会、ボランティアグループなど10団体で「大分スポーツ公園サポーターズクラブ」を組織し、清掃活動、花壇の整備、自然観察会など活発に活動しており、指定管理者と連携・協力して管理運営業務を行っている。 ○地域との連携を図るため、地元中学の職場体験学習や高校生の清掃活動、企業のボランティア活動を積極的に受け入れている。 ○緑地管理については造園施工管理技士を配置のうえ、環境アドバイザーの指導を受けながら計画的に伐採を行っており、また、スポーツ公園の敷地に隣接する土地の所有者、関係者からの伐採等の要望に対しても迅速かつ柔軟に対応している。			
(2)平等利用、安全対策、危機管理体制など ①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)が遵守されているか。 ②施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。 ③利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。 ④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。 ⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。 ⑥防犯、防災対策等の危機管理体制が適切であったか。 ⑦事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。	15	4	12
<b>【評価の理由】</b> ○個人情報の保護、情報公開、文書取扱等について法や条例に基づき諸規定を整備している。 ○毎月1回全体会議を開催し、必要事項の伝達などを行うとともに、年に1回、協力企業の職員も含めて管理のための研修会を開催している。また、AEDの取り扱いなどに習熟するため普通救命講習にも力を入れている。 ○施設の安心、安全を図るため、県と共同で安全管理マニュアルを制定し、定期点検(1か月点検、3か月点検、イベント後点検など)を行うことにより、公園内の安全を図っており、管理瑕疵による事故は発生していない。 ○利用者の安全を図るため施設賠償責任保険に加入し、万一の事故に備えている。 ○施設の利用に当たっては、施設ごとに各種大会の優先順位を定め利用計画を決定している。一般の利用希望者について希望が重複した場合は抽選により利用者を決定している。 ○毎日午前と午後1回ずつ、職員2人体制で高尾山自然公園及びスポーツ公園全体を巡回し危険箇所がないかどうかを点検している。この巡回により、公園内の事故を未然に防ぐ体制をとっている。 ○スポーツ公園が南海トラフ地震などの大規模震災時の広域防災拠点に指定されたため、大分県防災訓練等の各種訓練や資機材保管等について指定管理者として協力している。			

## 【総合評価】

合計得点(100点満点)	76	評価ランク(A~E)	C
〔評価の理由〕			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成26年度の利用者数は1,251,769人で目標指標の1,220,000人を31,769人上回っている(102.6%)。</li> <li>○ 利用者満足度調査にも真摯に取り組んでいる。 26年度は、ドーム等のアンケート576人、テニスコートアンケート213人、合計789人の方々から意見をいただいております。サンプル数としても十分である。 結果においても81%の方から良い以上の意見をいただいております。お客様に満足していただいているものと考えられる。 またアンケート結果についても、その詳細をホームページに公表して、ひとつひとつの要望に適切に対応している。</li> <li>○ NPO法人、地元自治会、ボランティアグループ、近隣の学校、企業等と協力して清掃活動、花壇の整備、自然観察会等、活発に活動しており、地域との連携が保たれている。</li> </ul>			
〔今後の対応〕			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成26年度にサッカー日本代表戦(5年ぶり)やサーカス(4年ぶり)が開催されたところであり、今後も大規模イベント誘致推進事業の補助金を活用しながらサッカー日本代表戦や大規模コンサート等を誘致することが望まれる。  大分スポーツ公園は平成13年の供用開始から13年経過し、これから経年劣化等による大規模な改修が必要となるが、指定管理者には今後とも利用者の安全確保を第一に日常点検の徹底と不具合箇所の早期発見、早期対応(指定管理者で対応可能なものは修繕、対応不可能なものは県への報告)をお願いしたい。</li> <li>○ 大分スポーツ公園は南海トラフ地震等の大規模災害時の大分県広域防災拠点に指定され、応援部隊(警察、消防、自衛隊)や救援物資の集積及び広域搬送拠点臨時医療施設の機能等を担うことから、今後、防災関連資機材等の配備、緊急時の職員の参集体制の構築などが喫緊の課題となっており、指定管理者の全面的な協力をお願いしたい。</li> </ul>			

## 【指定管理者評価部会の意見】

- サーカス等の大規模イベントの誘致により目標指標をクリアできており、評価できるが、今後は、大規模イベントも大切にしながら、これまで公園を使ってこなかった層への広報面での努力に期待したい。
- 公園内には来園した人にしか知られていない設備や楽しみ方が多々ある。例えば、パークプレイスに来るファミリー層に対して、「公園内でこういう楽しみ方ができる」という提案を、twitterやfacebookなどの一歩進んだウェブを活用しPRすることで、新たな利用者を開拓できるのではないか。
- 自主事業で、そばや陶芸など、スポーツと関係のない層を呼び込んでいるのは、施設の利活用を進める方策としては有効であり、継続的に実施して欲しい。
- 駐車場が分散しており、どの駐車場を利用すれば目的地に近く、便利なのかが分かりづらい。利用者の目線に立ち、公園内やホームページ等の駐車場の案内を見直してもらいたい。